

# 東京1区市民連合 会報 No.6 (部内資料)

〒101-0051 千代田区神田神保町1-18-1 千石屋ビル402号 TEL・Fax03-5577-7680

メールアドレス: [1kushimin@gmail.com](mailto:1kushimin@gmail.com) ツイッター: <https://twitter.com/1kushiminrengo>

## 立憲主義とりもどす闘いさらに 選挙総括と運動の前進めざし呼びかけ人会議を開催

11月27日、千石屋ビルにおいて東京1区市民連合の第6回呼びかけ人会議が開かれました。会議には12人が参加、総選挙の総括と今後の運動の進め方について意見交換、別項の「声明」を確認しました。私たちは総選挙で東京1区選挙区において、海江田万里さんを当選させ立憲主義回復の一步をつくりました。闘いはこれからです。ご支援いただいたみなさんに、改めてお礼申し上げますとともに、今後の所取り組みへのご協力をお願いするものです。

会議の冒頭、高橋博事務局次長から25日に開かれた「市民連合全国意見交流会」の様相について報告を受けたあと、総選挙を振り返ってそれぞれから感想などを出し合いました。

「自民党の現職を破った意味は大きい。市民と



野党の連携があったからできたことではなかったか」「海江田さんという候補者が良かった。知名度も高く、議員としての経験もある。それが有権者のなかに広がったのではないか」「選挙の取り組みは初めてだったが、いい経験になった」。

「高田馬場有志の会が、大きな役割を果たしたのではなからうか。地道に宣伝行動をやり、野党をつなぐ役割を果たしたと思う」「12項目の基本政策は他では見られない中身の濃いものになっ

た。今後、この政策の実現をめざす行動が求められる」「若い人たちが参加してくれたことは元気が出た。今後も続けていきたい」。

「いきなりの解散・総選挙で戸惑いもあったが、共同代表の選出など迅速な対応ができた。これはその後の活動に弾みがついた」「ツイッターの役割もあった。ホームページの活用まではいかなかったが、役に立った。SNSの活用を今後も重視する必要があるのではないか」——など、多面的な意見が出されました。

### ■総括声明を確認

このあと選挙戦を振り返って、総括の意味を込めた「声明」の中身について議論しました。事務局会議で議論したものを事前に提案してあり、スムーズに運びました。

内容は3面掲載のとおりですが、今後の運動を展望したものとなっており、活用をお願いするものです。

### ■財政報告について

つづいて、財政について事務局から報告を受けました。収支は別表のようになります。

呼びかけ人をはじめ多くの方々からご協力いただきました。改めてお礼を申し上げます。収入

部分で3労組から借り出しの形になっており、これを返済した場合はマイナス137,663円となります。その扱いについて協議中であることも合わせて報告されました。

つづいて、今後の財政についても議論されました。費用的には、事務所費(光熱費含め4万円/月)が大きな支出となっています。その対応として「どこかの組合の一角を借りることも選択肢ではないか」「賛同人の会費制を考えてもいいのではないか」などの意見が出されました。

しかし今後も1区市民連合として活動していく上で、事務所の維持は必要十分条件であるという立場から、年末のカンパ目標として50万円を設定、取り組むことを確認しました。個人・団体のみなさんからの積極的なご協力をお願いするものです(4面に協力要請文掲載)。

#### ★収入(単位・円)

呼びかけ人、賛同人等カンパ(28人)	363,000
3労組関係借り出し	300,000
新宿、港、千代田街頭など大衆カンパ	172,443
集会等カンパ(学習会資料代含む)	187,860
合計	1,023,303

#### ★支出(単位・円)

事務所費(4月～40,000/月)	320,000
事務用品費(パソコン含む)	66,890
交通費	32,850
会場費(集会場等)	249,998
通信費(電話代、送料等)	70,871
宣伝費(会報印刷代等)	120,357
合計	860,966

残金162,337

#### ■今後の取り組みについて

今後の取り組みについて、大西事務局長から海江田議員との定期的懇談・国会報告会の開催、基本政策を実現するための宣伝行動、「憲法カフェ」「経済カフェ」などの取り組み、ホームページ、ツイッターなどSNSの充実——などが提案されました。議論の結果、

①海江田議員との懇談・国会報告は、年に2回

程度を考える。日程等は海江田事務所と相談する。

②宣伝行動は新宿、千代田、港の持ち回りで毎月行う。とりあえず、12月は新宿、1月は千代田、2月は港で展開する。

③11月20日に開かれた憲法カフェの取り組みについて、1区市民連合として賛同し協力した。この種の取り組みは大事であり、「経済カフェ」などのイメージも含めて、取り組む。

④ホームページ、ツイッターをはじめとしたSNS活用は引き続いて強める。そのために事務局を中心に協力を強める。

⑤1区市民連合への団体加盟について、これを確認する。あわせて個人(賛同人)の協力をさらに広げる。

⑥呼びかけ人会議は3ヶ月に1回、事務局会議は1ヶ月に1回程度開くことを目標として運営を進める。

以上のような諸点を確認し、会議は終了しました。重ねて、この間の取り組みにお礼を申し上げ、引き続きご協力を頂けますようお願いするものです。

12月、1月、2月の日程が下記のように決まりました。スタンバイをお願いいたします。

#### 12.16 新宿駅西口宣伝行動

- ▼日付/12月16日(土)15:00~16:00
- ▼場所/新宿駅西口

#### 1.23 神保町リレートーク

- ▼日付/1月23日17:30~18:30
- ▼場所/神保町交差点

#### 2.9 赤坂見附宣伝行動

- ▼日付/2月9日18:00~19:00
- ▼場所/東京メトロ赤坂見附駅

※新宿は「みんなの新宿をつくる会」、千代田は「戦争させない千代田の会」、港は「戦争法廃止!みなと総がかり行動実行委員会」「みなと・9条の会」との共同行動となります。

## 声明——2017年衆議院議員総選挙の戦いを振り返って

## 私たちは立憲主義回復の確かな一步を築いた

2017年11月27日 東京1区市民連合呼びかけ人会議

かつて経験したことのない戦いでした。立憲主義を取り戻す戦いでした。そして戦争させない、いのちと暮らしを守る戦いでした。その戦いにここ東京1区で私たちは海江田万里さんを当選させ、勝利しました。勝利のために尽力いただいたすべてのみなさん、なかでも下支えいただいた労働組合のみなさん、都・区議会議員のみなさんに、改めて心からお礼を申し上げるものです。

私たちは、安保法制(戦争法)反対闘争のなかで生まれた「野党は共闘」の声に押され、昨年秋から準備を始め、今年2月14日に「東京1区市民連合(仮称)準備会」を立ち上げました。運動体を立ち上げたものの、未経験の領域は率直に言って手探りでした。しかし私たちは知恵を持っていました。それは、有権者にその存在を知ってもらうための「宣伝」と、私たち自身を高めるための「学習」という、運動の原点に帰ることでした。

その行動は功を奏しました。呼びかけ人と市民連合の賛同者は着実に広がり、拠点としての事務所を構えることができました。その矢先、大義なき解散が日本列島を襲ったのです。党利党略の解散でしたが、私たちに焦燥感はなく、戦いを本格化させるべく名称から「準備会」をはずし、10月3日正式に「東京1区市民連合」として私たち呼びかけ人は3人の共同代表を選出、事務局体制を強化して戦いがスタートしました。

並行して、野党3党(立憲、共産、社民)による候補者選定の協議も行われてきました。協議に際して、安倍暴走政治を許さないとして高田馬場で宣伝行動を継続してきた「高田馬場有志の会」のみなさんの力添えは、大きな役割を果たしました。この高田馬場有志の会の活動に自由党も参加しました。

この経過を踏まえ、予定候補として活動してきた日本共産党の冨田直樹さんは候補を取り下げることが表明、立憲民主党の海江田万里さんに候補者を一本化することが確認されました。

基本政策についての協議も始まりました。1区市民連合と3野党の間で率直な意見交換が行われ、12項目について合意し公示直前の10月8日、調印が行われました。この調印の懇談会を総選挙のキックオフと位置づけ、その日新宿駅西口で宣伝行動を展開しました。

選挙戦本番に入って、共同代表を先頭に海江田万里候補押し上げの戦いを繰り広げました。街頭で、団地の中で、雨降るなかで「立憲主義を守るため海江田万里を国会におくっていただきたい」と持てる力をいかんなく発揮しました。その訴えは広がり、有権者に間違いなく届きました。その結果、3000余票の差をつけて、海江田候補は自民党の現職候補を破ることができました。

この戦いの教訓は少なくありません。その最大のものは、市民と野党が共闘すれば1人区でも間違いなく勝てる、という実績を作ったことです。野党共闘分断の危機がありましたが、「野党共闘」を切望する市民の声は、それを乗り越えました。私たちは市民と野党との共闘こそが、未来を拓く唯一の道であることに大きな確信を持ち、安倍内閣打倒の旗をさらに高くかかげるものです。

東京1区で勝利し、全体として立憲野党は増えたものの残念ながら安倍内閣を打倒するにいたらず、改憲に必要な3分の2を超える議席を許しました。しかし私たちは怯みません。市民と野党の共闘は、国政選挙では16年の参議院選挙につづいて今回は2度目と緒についたばかりであり、この戦いは回を重ねるたびに、さらに大きく広がる可能性を秘めているからです。

改めて声を大にして言います。戦争させない。立憲主義をとりもどす——決意を改めて表明し、基本政策12項目の実現のため、海江田万里議員とともに闘うことを決意し、17年衆議院議員総選挙闘争の総括的声明とするものです。

# 東京1区市民連合のさらなる発展のためのカンパのお願い

既報の通り、先の衆議院総選挙において私たちは自民党の現職候補を破って、海江田万里さんを当選させました。これは立憲主義を取りもどし戦争を許さないという有権者の強い思いが反映されたものであり、同時に暴走を続ける安倍内閣の政治姿勢を批判したものであると考えます。

その思いと、候補者と東京1区市民連合および3党（立憲民主党、日本共産党、社会民主党）との間で結ばれた「基本政策」（下記参照）の実現をめざす運動を強める必要があります。そのためには事務所の維持をはじめとした財政的裏付けがどうしても必要です。

この運動にご理解いただける皆さん方に、カンパのご協力を呼びかけることになりました。目標として50万円を設定しました。目標達成のためには、多くのおみなさんのご協力が不可欠です。年末で出費のかさむ時期ではありますが、趣旨をお汲み取りいただき重ねてご協力をお願いするものです。

2017年12月1日 東京1区市民連合事務局

## (カンパ振込先)

郵便振替 口座番号 00140-2-635126

名称 東京1区市民連合

※一部の方には「準備会」の入った振込用紙を送らせていただきましたが、この用紙も使用できます。

## 10月8日に合意された

### 17衆議院議員総選挙における東京1区基本政策

- ①特定秘密保護法、安保法制、共謀罪法を廃止し、立憲主義を回復する。
- ②「アベノミクス」による国民生活破壊、格差と貧困を是正する。
- ③沖縄の基地問題など、国民の声に耳を傾けない強権政治を許さない。
- ④安倍政権が進める改憲は、憲法の理念・原則を損なうものであるから、これを許さない。
- ⑤森友・加計学園疑惑を徹底して追及する。
- ⑥高度プロフェッショナル制度の導入などの労働法制の改悪に反対し、長時間労働の規制強化、最低賃金の大幅引き上げを行う。
- ⑦国連で採択された核兵器禁止条約を支持し、日本の参加をめざす。
- ⑧福島第一原発事故の検証及び地元自治体の合意がないままの原発再稼働は認めず、再生可能エネルギー政策を確立し、原発ゼロをめざす。
- ⑨LGBTに対する差別解消施策や、ヘイトスピーチ根絶のための対策を通じて多様な社会を確立する。
- ⑩女性に対する雇用差別や賃金格差を撤廃し、女性議員増や選択的夫婦別姓など男女平等の社会を確立する。
- ⑪すべての子ども、若者が健やかに育ち、学び、働くことを可能にするため、奨学金の給付制度拡充をはじめ、保育、教育、雇用に関する政策を飛躍的に拡充する。
- ⑫2019年10月に予定されている消費税増税をいったん停止し、社会保障制度・税財政全体の改革の中で議論する。